

## 芦屋市教育委員会 教育長と教育委員が新たに就任！

3月末で任期満了となった福岡 憲助 教育長の後任として、学校教育担当部長であった野村 大祐 氏が教育長に就任。また昨年12月議会で人事案不同意となり、その後欠員となっていた教育委員に三宅 真理子 氏が就任。どちらも3月定例会で全会一致で同意。

新しい教育委員会の体制のもとで、子どもたち一人ひとりの成長を支援し、学びの環境を整備することが求められています。

## 長期休暇中の学童保育のお弁当宅配事業について

昨年6月定例会一般質問で私が提案した長期休暇中(夏休み等)の学童保育お弁当宅配事業について、新年度予算には新規事業として予算計上がありませんでした。

予算特別委員会民生文教常任分科会の中で、質したところ「持続可能な形でスタートを切れるように前向きに検討中」との答弁がありました。実際に3月には、学童保育をご利用の保護者の方にアンケートが行われました。

食中毒などが発生しやすい夏休みには事業がスタートできるように引き続き再三の要望をいたしました。

## うちぶん(打出教育文化センター)&お猿公園がリニューアルオープン

うちぶん(打出教育文化センター)、日本庭園、お猿公園(打出公園)が一体整備され、リニューアルオープンしました。うちぶんは、インターネット予約、キャッシュレス決済により対面することなく施設予約・利用が出来るようになり、図書館打出分室においてもうちぶん内で読書が可能になるなど利便性が各段に向上しました。公園・うちぶんには猿のデザインが残されています。公園・日本庭園・うちぶんは、それぞれアクセス可能ですので是非ご利用ください。

## Report



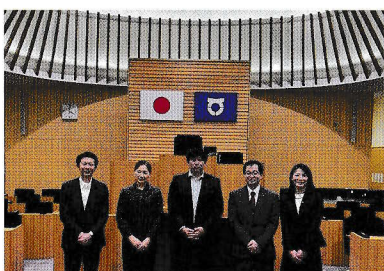
予算特別委員長を拝命。委員会の様子



芦屋梅まつりにて



▲リニューアルした「うちぶん」(打出教育文化センター)内覧にて



あしや政風会 会派視察

佐賀県武雄市「ICT教育について」 母校 宮川小学校 卒業式にて ▲常任委員会で議会報告会を開催

【発行】事務所：芦屋市浜町10-23 MAIL：info@iwaoka-ryosuke.com  
TEL：050-3706-1338 HP：https://iwaoka-ryosuke.com/

HPはこちら



## はじめに

3月定例会では令和6年度予算の審査がありました。私は予算特別委員長を務め、去る3月22日に一般会計予算含む12本全ての予算が成立いたしました。

高島市長就任後、初の新年度予算です。こども医療費助成や産後ケア事業の拡充。私が議会で提案したタカを活用したカラス等鳥類対策の実証実験。地域公共交通空白地におけるデマンド交通の実証運転など、市民や地域の要望を着実に実現している予算編成です。

議案では「厚生年金への地方議員の加入を求める意見書」の議案提出者となり、賛成多数で採択されました。

## 令和6年度当初予算が成立！

令和6年度一般会計当初予算は過去10年で最も高い**469億6,400万円**。

### 新年度の予算案の主なポイント

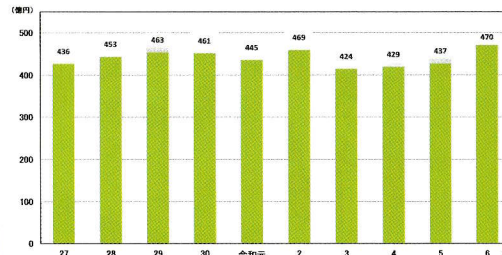
- 子育て支援や教育の充実などに重点
- 施設の整備●高齢者支援
- JR芦屋駅再開発事業
- にぎわいづくり
- その他行政の効率化や防災・減災、医療分野での支援策なども予算案に含まれています。

### 予算の概要はこちらから▶

芦屋市HP

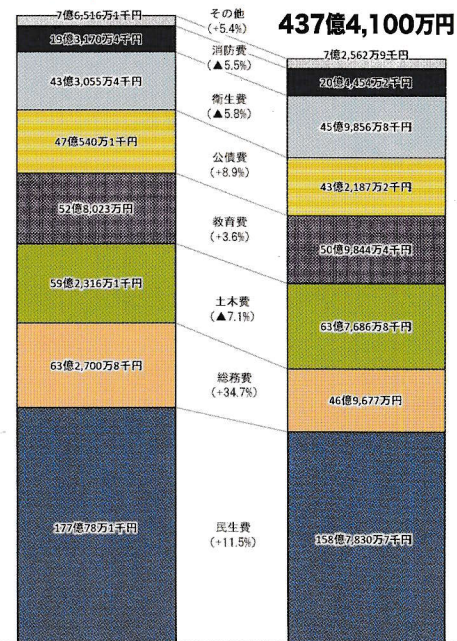


一般会計当初予算額の推移



## 一般会計歳出予算(目的別)の状況

469億6,400万円



※グラフは芦屋市HPより参照

(裏面へ)

### こども医療費助成 制度の拡充

令和6年7月1日から制度の対象年齢を現行の中3から高校生相当にまで引き上げるとともに、所得制限を撤廃。拡充対象者は外来診療分の窓口負担額は、1回上限800円（同一医療機関につき月3回目からは負担なし）。



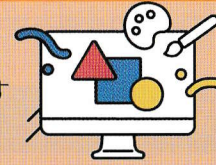
### 産後ケア事業の拡充

産後ケアの対象要件を「育児不安のある産婦」から「産後ケアを必要とする産婦」に拡大。対象児を生後4カ月から1才以内に拡大。宿泊型、通所型に加えて自宅への訪問型も新設。自己負担額も軽減。産婦の睡眠時間の確保支援などにもより利用しやすくなる。



### 探究的な学び推進事業

公正で個別最適な学びのあり方を研究し、その成果を発信することを目的とする「ONESTEPpers



（ワンステッパーズ）」を設立。市内教職員による研究チームで、先進自治体の研究や民間企業や有識者を保有する団体との連携、教職員自身による主体的な研究推進を図る。

### 心のケア支援推進事業 (PEACEサポーター配置)

市内全ての小中学校（小学校は2校に1名、中学校各校1名）を対象に心のケア等支援を行う職員を配置する。学習補助や授業中に支援が必要な生徒への緊急的な対応など不登校状態になることを未然に防ぎ、校内サポートルームの充実を図る。



### いじめ未然防止対策事業

市内全ての小中教職員を対象にいじめ対応の研修を実施するとともに、市教委、教頭、生活指導教員等を対象に教育相談コーディネーター育成を図る。

子どもの実態把握アプリの導入、小学校高学年、中学生を対象に、弁護士によるいじめ防止授業を行い、未然防止及び早期発見を図る。



### 中学校部活動の 地域移行検討事業

教職員の授業準備や生徒に向き合う時間確保、子どものスポーツ技術向上及び持続可能な部活動のため、各中学校において試験的に地域部活へ移行する。新規の部活動としては「バドミントン」「ダブルダッチ」「フラッグフットボール」を新設。地域コーディネーターと地域指導者の育成を図る。



### 学校体育館空調 設置に係る設計業務

令和7年度の体育館空調設置工事に向け、市立全小中学校（精道小学校、宮川小学校は公害対策のため既に設置済）の体育館空調設置の設計業務委託を実施する。



### カラス等対策事業

カラスに営巣させない取り組みとして、タカを活用したカラスの追い払いについて試行し、効果検証を行う。タカを飛ばさない隙間期間についても鳴き声などIoTの活用を行う。JR芦屋駅周辺のムクドリの追い払いも併せて試行する。



### JR芦屋駅南地区再開発事業

令和11年9月の完成を目指し、再開発ビルの建築工事を担う特定建築者を公募・選定の上で、再開発ビルの実施設計を行う。



※芦屋市HPより

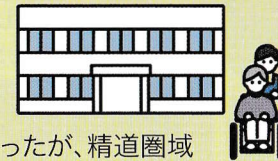
### 防災行政無線システム更新 防災情報システム導入事業

防災行政無線システムが14年以上経過していることから、より聞き取りやすいものに更新。防災情報システムの導入により状況の報告など災害情報のデジタル化で集約、迅速な一斉配信なども可能となる。



### 高齢者生活支援センターの増設

これまで4つの圏域（西山手、東山手、精道、潮見）が担当圏域だったが、精道圏域では高齢化人口が高く、潮見圏域では高齢化率が高いため、業務負担軽減と支援の質向上を目的に両圏域の一部を担当圏域として新たに高齢者生活支援センターを設置する。



### 地域公共交通 実証運行支援業務

既存の公共交通の空白地において補完する施策の検討を行う。既存の公共交通網から離れている山手地域において、デマンド交通等の実証運行に向けた検討を行う。

